

平成24年 8月13日

報道関係各位

大阪府 府民文化部都市魅力創造局
文化課文化振興グループ 柳生、江野
TEL 06-6210-9323

大阪市 ゆとりとみどり振興局
文化部文化振興担当 國米、安長、坂口
TEL 06-6469-5177

公益財団法人関西・大阪21世紀協会 事業チーム
広瀬、河辺、柴崎
TEL 06-6942-2004

平成24年度大阪文化祭賞 受賞者の決定について（ご案内）

大阪府、大阪市及び公益財団法人関西・大阪21世紀協会では、芸術文化活動の奨励と普及を図り、大阪の文化振興の機運を醸成することを目的に、「大阪文化祭」を開催してまいりました。

今年度は、5月から6月の2ヵ月にわたって大阪府内の各会場で行われた公演等を対象に、独創性に富み、企画・内容・技法が総合的に優れていること等について厳正な審査をいたしました結果、参加公演54件の中から下記のとおり各賞が決定いたしました。

報道関係の皆様方には何かとご多端の恐れ縮ですが、当賞の趣旨に鑑み、広く告知・ご取材等のご協力を賜りたく存じます。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

記

1. 平成24年度大阪文化祭賞 受賞者

大阪文化祭賞

- ・藤間 良太郎 「藤間良太郎の会」における「娘道成寺」の成果
- ・関西オーケストラプロジェクト実行委員会
「関西オーケストラプロジェクト2012」における
「4人の作曲家による新作初演」の成果

大阪文化祭賞奨励賞

- ・菊央 雄司 「吉村輝尾・菊央雄司ジョイントリサイタル」における
「浪花十二月」の成果
- ・劇団大阪 第71回本公演「イノセント・ピープル」の成果
- ・地主薫バレエ団 地主 薫、奥村 康祐
2012年 地主薫バレエ団公演「 Coppélia 」における
演出（地主薫）及び演技（奥村康祐）の成果

※なお、本年度の大阪文化祭賞グランプリは該当なしとなりました。

※参加件数 54件／受賞件数 5件

※副賞賞金として、公益財団法人関西・大阪21世紀協会より大阪文化祭賞グランプリ50万円（該当なし）、大阪文化祭賞15万円、大阪文化祭賞奨励賞5万円が贈られます。

※各受賞者の受賞理由・略歴等は別添資料をご参照ください。

2. ご参考

1) 大阪文化祭賞とは

大阪文化祭賞の創設は昭和38年にまで遡り、これまで多くの芸術家、実演家が受賞しています。平成13年からは、現在の運営形態である大阪府、大阪市及び財団法人大阪21世紀協会の3者が共同で「大阪文化祭」を開催。関西の著名な芸術家・文化人・ジャーナリストらが審査員となり、第1部門「伝統芸能・邦舞・邦楽」、第2部門「現代演劇・大衆芸能」、第3部門「洋舞・洋楽」の3部門について、期間中に開催する公演を実際に観覧した上で厳正に審査し、大阪文化祭賞グランプリ、大阪文化祭賞、大阪文化祭賞奨励賞を選考しています。

※大阪文化祭賞 贈呈式について

大阪文化祭賞の贈呈式を9月中旬に開催する予定です。詳細は改めてご案内いたします。なお、贈呈式には上記受賞者が多数出席し、インタビュー等にお答えいただく予定です。ぜひご出席くださいますよう重ねてお願い申し上げます。

■この件に関するお問い合わせ・ご連絡先■

公益財団法人関西・大阪21世紀協会

事業チーム 河辺、広瀬、柴崎

TEL 06-6942-2004 FAX 06-6942-5945

E-mail kawabem@osaka21.or.jp (河辺)

〒540-0032 大阪府中央区天満橋京町1-1

大阪キャッスルホテル4階

《各受賞者の受賞理由・略歴》

大阪文化祭賞 2件

藤間 良太郎 (ふじま りょうたろう) (第1部門：伝統芸能・邦舞・邦楽)



大曲の「娘道成寺」を一部のくだりを除き道行から鐘入り、見頭しまで約50分、素で踊り抜いたのは特筆される。藤間良太郎は華やかでいて、哀しい女ごころの移ろいを、しっとりと華やかに、時に激しく、見事に描出した。素踊りは見た目に地味だが、照明をはじめ桜の吊り枝や鐘に見立てた段状の作り物など装置にも工夫をこらし、被衣で蛇体を巧みに表現したり、中堅舞踊家3人を所化に配して、変化をつけるなど、斬新で意欲的な振付・演出が大いに効果を上げた。

【略歴】8歳にて日本舞踊入門。19歳で藤間流名取取得、後に師範取得。1980年フランス公演海外へ日本文化の伝達、披露の活動を始める。

91年第1回カナダ公演(BC州議事堂、シュメイナス)。92年第2回カナダ公演(日系パウエル祭出演(バンクーバー))、大阪エルシアターにて「モミジシニアセンター」支援のチャリティーイベント主催。93年第3回カナダ公演(学校訪問3校)、大阪府国際交流財団より国際リーディング事業として認定。94年第4回カナダ公演(モミジシニアセンター(トロント)訪問)。95年第5回カナダ公演(ペンティントン高校公演(BC州))。96年第6回カナダ公演(日系1世の会に出演等)。97年第7回カナダ公演(マラスピーナ大学(BC州)公演)。98年第8回カナダ公演「ジャパンウイークインバンクーバー」出演。99年「日系ヘリテージセンター」建設のチャリティーイベント主催、堺市より国際交流功績団体表彰。2000年国立文楽劇場にてリサイタル。01年第9回カナダ公演(国際交流基金派遣公演)。02年サンケイホールにてリサイタル。03年国立文楽劇場 芸術祭参加公演リサイタル。07年マレーシア国際舞踊大会出演。11年宝塚造形芸術大学大学院修士課程修了、ミャンマー公演(日本大使館招聘)。

関西オーケストラプロジェクト実行委員会 (第3部門：洋舞・洋楽)



写真中央は、指揮者 秋山 和慶氏

昨今、新作、わけても管弦楽作品の初演が関西では少ない中、本公演はすべてが新作、しかも関西在住70代の熟練作曲家4人によるものであった。作品の質も総じて高く、何よりも個々の作曲家が披瀝した真実の声は、聴衆に感銘を与えたことだろう。また、かかる公演の実現自体が、後進の作曲家や音楽家、ひいては関西文化界にも大きな刺激となったに違いない。かような志と質の高さを持つ本公演こそは大阪文化祭賞に真に相応しい。

【略歴】(4人の作曲家)



中村 茂隆 (なかむら しげたか) :

1932年神戸生まれ。兵庫県立神戸高等学校、東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。神戸大学名誉教授(教育学部、発達科学部)。文部省主催第12回芸術祭作曲奨励賞(58年)、大阪文化祭奨励賞(86年)、神戸市文化賞(94年)、兵庫県文化賞(00年)などを受賞。地域文化振興の功労者として文部科学大臣より表彰を受ける(09年)。《主な作品》仁徳(00年)オノコロ伝説(05年)他多数。



中西 覚（なかにし さとる）：

現在までに作品展6回（文化庁芸術祭参加2回）の他、各種コンサートへの出品や、CD、楽譜出版、委嘱作品など多数。兵庫県民創作オペラ「おさん茂兵衛丹波歌暦」などオペラも既に8作。2009年CD「日本歌曲全集」第4集〔團伊玖磨・中西覚〕の発売に続き、10年には〔中西覚歌曲集1〕が出版される。10年10月〔アジア音楽祭IN東京〕で合唱曲〔二つの寓話〕より（かめ）が演奏される。音楽教育功労賞、兵庫県文化賞、神戸市文化賞、西宮市民文化賞、同教育功労賞その他を受賞。《主な作品》管弦楽のための幻想曲「天の笛」、音楽狂言「春」「秋」他多数。



七ツ矢 博資（ななつや ひろし）：

1939年横浜生まれ。小船幸次郎氏に作曲の手ほどきを受ける。桐朋学園短期大学音楽科作曲専攻卒業。戸田邦雄、別宮貞雄、諸井誠の諸氏に師事。その後、ポーランド文化芸術省より奨学金を得て、ショパン音楽院へ留学。A. ドプロボルススキ氏に師事し、作曲と電子音楽を学ぶ。ウィーンとパリで1年ほど放浪生活をおくり、74年帰国。第35回毎日音楽コンクール作曲部門（室内楽）第1位。大阪芸術大学名誉教授。《主な作品》「自画像」～サイバー尺八とピアノのための（09年）他多数。



鈴木 英明（すずき ひであき）：

東京藝術大学音楽部作曲科卒業。同年第32回音楽コンクール作曲部門、音楽之友社作曲懸賞等に入選。東京、大阪、静岡等で6回の個展を開催。第6回大阪の秋国際現代音楽祭、「日本の作曲家」出版記念演奏会、サントリー音楽財団コンサート「関西の作曲家」、日本音楽集団による「邦楽器の祭典」、日独現代音楽演奏会他に出品。欧米、オーストラリア、韓国などでオペラ、室内楽等が演奏されている。2006年夏、CITY OF LONDON Festivalに参加、室内楽2曲の演奏と講演を行う。大阪音楽大学名誉教授。《主な作品》なみはや国体賛歌（第52回大阪国体委嘱作品）、「源氏物語」（関西歌劇団創立50周年委嘱作品）他多数。

大阪文化祭賞奨励賞 3件

菊央 雄司（きくおう ゆうじ）（第1部門：伝統芸能・邦舞・邦楽）



地歌箏曲のホープとして近年目覚ましい成長を遂げている菊央雄司。「吉村輝尾 菊央雄司ジョイントリサイタル」では作物（さくもの＝飄逸な味わいの曲）の地歌「浪花十二月」に挑戦。30代の若さで、こういうしゃれた風味の曲をサラリと、しかも上方のにおいをしっかりさせながら勤めたことは特筆に値する。男性の地歌箏曲演奏家が少ないなか、将来の上方文化の担い手としての期待を込めて、奨励賞を贈りたい。

【略歴】1989年五代目菊原光治に入門。97年『菊央』の称号を授かる。99年龍谷大学経済学部卒業、上方の胡弓を菊津木昭師に師事。2000年平家琵琶を名古屋の今井勉に師事。01年 NHK邦楽オーディション合格。02年平成14年度文化庁 新進芸術家国内研修員に認定、NHK教育 TV「芸能花舞台」出演。03年N

HK-FMラジオ「邦楽のひとつとき」にて放送。05年国立文楽劇場主催「舞踊邦楽公演」出演、初リサイタル開催。06年京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター共同研究員。07年（社）当道音楽会にて中勾当の職格を取得。第2回リサイタル開催。09年第3回リサイタル～地歌の粹人～を開催。11年第4回リサイタルを開催。

【受賞】長谷校校記念第6回全国邦楽コンクール最優秀賞・文化庁奨励賞受賞（2000年）、大阪舞台芸術新人賞受賞（04年）、大阪市「咲くやこの花賞」受賞（05年）。

劇団大阪 (第2部門：現代演劇・大衆芸能)



原爆実験発祥の地ロスアラモス。原爆開発研究所の一員の家の居間を舞台に原子爆弾を作り上げた5人の若者たちとその家族の65年間を綴った作品。原爆を投下した立場から見た原爆と被爆国日本…日本人が書いた日本語によるアメリカを舞台にしたメタ構造の異色の戦後史に真摯に取り組み、見応えのある舞台を作り上げた。しっかり作りこんだセット、作品選びのタイムリーさも功を奏した。時制を錯綜させながらの舞台は若い年

代を演じる部分では年齢不詳の感は否めなかったもののベテランらしい手堅い演技で奮闘。緊張感のあるバランスの取れた舞台が評価された。

【略歴】 1971年12月劇団設立。77年「ああ野麦峠」大阪文化祭賞奨励賞受賞。78年「かあちゃんたちの明日」大阪府民劇場奨励賞受賞。86年「教員室」大阪新劇フェスティバル作品賞受賞。87年「マハゴニー」同作品奨励賞受賞。91年「エリアンの手記」十三夜会賞奨励賞受賞。94年「日本の面影」大阪文化祭賞奨励賞受賞。97年「そしてあなたに逢えた」大阪文化祭賞受賞、大阪新劇フェスティバル作品賞受賞。98年熊本一「大阪知事表彰」。2000年堀江ひろゆき「大阪知事表彰」。02年「谷間の女たち」大阪新劇フェスティバル作品賞受賞。03年「そしてあなたに逢えた」第1回銀河ホール「地域演劇賞」受賞、「アトリエ」大阪新劇フェスティバル作品奨励賞受賞。その他、大阪新劇フェスティバルや大阪春の演劇まつりにおいて「男優演技賞」「女優演技賞」を多数受賞。

地主薫バレエ団 地主 薫、奥村 康祐 (第3部門：洋舞・洋楽)

「 Coppélia 」の物語を大切に、奇をてらうことなく、初めてバレエを観る人にも楽しめる様々な独自の工夫を凝らすとともに、成長著しいバレエ団員たちを活かして踊りの楽しさを実感させた地主薫の演出・振付。そして、主役フランツを高いバレエ技術、チャーミングな個性、確かな演技力で踊った奥村康祐。この2人の成果を中心に、バレエ団全体の力がよく発揮された魅力的な舞台に仕上がっていた。

【略歴】



地主 薫 (じぬし かおる) :

1964年法村友井バレエ学校高槻教室に入学、三宅田希子に師事。72年法村友井バレエ学校ジュニア科を経て法村友井バレエ団に入る。友井唯起子、法村牧緒、友井櫻子、三宅哲司に師事。81年日本バレエ協会主催による文化庁助成公演関西バレエフェスティバルで、創作バレエ「THE FLAME」を法村友井バレエ団に振付・主演する。82年(社)日本バレエ協会関西支部主催第9回バレエ芸術劇場「眠れる森の美女」全幕でリラの精を踊る。88年法村友井バレエ団退団。地主薫エコー・ド・バレエ及び地主薫バレエ団設立。91年から毎年、地主薫バレエ団公演を行い、「白鳥の湖」「くるみ割り人形」「シンデレラ」「ドン・キホーテ」「 Coppélia 」「ジゼル」など、その全主役を踊る。99年石田種生氏に地主薫バレエ団のためのオリジナル作品「竹取物語」全3幕を創作依頼、主役かぐや姫を踊る。2004年地主薫舞踊生活40周年記念公演に特別講師としてワジム・チェジェーエフ氏とスベトラーナ・ツォイ氏を迎え、「白鳥の湖」全幕のオデットとオディールを踊る。07年「Ballet Night with Misa Kuranaga」をプロデュース。09年ミハイル・バリシニコフが育ったラトビア国立バレエ学校より依頼され最高学年の生徒のクラスを指導。

[受賞] ザ・バレコン福岡優秀指導者賞 (06・07年)、東京新聞全国舞踊コンクール特別賞・指導者大賞 (06年)、優秀指導者賞 (07・08・09年)、大阪文化祭賞グランプリ (08年/地主薫バレエ団創立20周年記念公演「ロミオとジュリエット」)。



奥村 康祐（おくむら こうすけ）：

5歳より地主薫エコール・ド・バレエで地主薫に師事。2003年地主薫バレエ団に入団。08年地主薫バレエ団創立20周年記念公演「ロミオとジュリエット」全幕にて主役を踊り、大阪文化祭賞グランプリを受賞する原動力となる。09年(社)日本バレエ協会公演「眠れる森の美女」全幕で青い鳥を踊る。ラトビア国立オペラで行われた“14th International Baltic Ballet Festival”のガラコンサートにゲスト出演。10年(社)日本バレエ協会関西支部バレエ芸術劇場「ジゼル」全幕でアルブレヒトを踊る。国立モスクワ音楽劇場バレエのオープニングガラコンサートにゲスト出演。ガリーナ・イスマカエワと「ゼンツァーノの花祭り」を踊る。11年(社)日本バレエ協会公演「ドン・キホーテ」全幕で主役バジルを踊る。法村友井バレエ団公演「お嬢さんとならず者」の主役を踊る。小林紀子バレエシアター公演「マノン」全幕でレスコーを踊る。

NBAバレエ団公演「ラ・フィーユ・マルガルテ」全幕でコーラスを踊る。新国立劇場バレエ団に、ソリストとして入団。ビントレー振付「パコダの王子」の東の王、平山素子振付「Butterfly」などを踊る。

[受賞] 第18回全日本バレエコンクール シニア部門 第1位、文部科学大臣賞・東京知事賞（07年）、第11回モスクワ国際バレエコンクール シニア部門 銀賞（09年）、第9回アメリカジャクソン国際バレエコンクール シニア男性部門 銀賞（10年）、平成22年度文化芸術祭新人賞受賞（11年）。

※写真はデジタルデータもございます。ご入用の際は E-mail でお送りいたしますので、上記事務局まで電話または E-mail にてご連絡ください。

以上